

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年10月27日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 政義

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	豊富町議会議会運営委員会道内行政視察調査
用務先	泊村町議会・とまりん館・北海道議会
期間	10月8日(水)～10月10日(金)
用務の概要(会議等の概要)	
10月9日 泊村議会視察、宇留間議長より泊村議会の概要の説明、結城原子力発電所対策特別委員長より特別委員会の発足経過及びエネルギー資源の現状、地元への恩恵、国の補助金の活用方法、原発再稼働への村民の反応についての意見交換、とまりん館、発電所構内見学、泊原子力事務所 西木次長から泊発電所の必要性や安全対策等の説明を受ける。	
10月10日 北海道議会議事堂、赤いガク舎、八角塔の施設見学、三好道議との意見交換及び北海道議会庁舎改築基本計画について担当者から説明を受ける。	

(注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年10月30日

豊富町議会議長 様

氏名 多々良 勝

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	豊富町議会 議会運営委員会 道内行政視察調査
用務先	泊村議会 ・ とまりん館 ・ 北海道議会
期間	令和7年10月8日(水)から10月10日(金)まで
用務の概要(会議等の概要) <u>10/8 移動日</u> <u>10/9 泊村議会視察</u> (議長/副議長/原子力発電所対策特別委員会委員長/同副委員長/総務企画課長/議会事務局長) ・議会運営について 泊村議会概要説明、特別委員会の発足経過と議論内容の説明を受ける ・エネルギーに関する意見交換 現状、地元への恩恵、補助金の活用方法、再稼働の反応について説明を受ける ※補助金の活用方法や再稼働の村民の反応など情報を聞くことができた。 再稼働は厳しい基準のクリアが必要 ※住民の安心が大事 <u>とまりん館 (泊発電所の施設見学)</u> 概要説明、発電の仕組み、安全対策の説明と、構内の施設見学で説明を受ける <u>10/10 北海道議会の施設見学</u> 新庁舎建設に至るまでの経過説明を受け、庁舎内を見学 三好道議との意見交換ができた	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年12月3日

豊富町議会議長 様

氏名 水戸部 正博

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	豊富町議会 議会運営委員会 道内行政視察
用務先	北海道内
期間	令和7年 10月8日(水)～10月10日(金)
用務の概要(会議などの概要)	
①泊村	議会運営について エネルギーに関する意見交換 (助成金の活用 住民への説明会 避難経路の工事状況など)
②とまりん館	原子力発電所3号機 (再稼働認可への工事 厳重な警備 巨大発電機)
③北海道議会	議会庁舎及び議事堂、赤レンガ庁舎 (地域特性コンセプトを盛り込んだ設計)

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和 7年11月20日

豊富町議会議長 様

氏 名 小笠原 照美

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 1

用 務	議会運営委員会行政視察
用 務 先	泊 村 泊村議会の概要 原子力対策特別委員会の発足経過と議論内容 泊発電所視察 札 幌 市 北海道議事堂視察
期 間	令和7年10月8日～令和7年10月10日
用務の概要(会議等の概要)	
10月9日 泊 村 泊村議会の概要と原子力対策特別委員会の発足経過と議論内容	
人口1,388人で議員定数8名 平均年齢70.5歳と議員の高齢化はどの自治体も同じ、	
常任委員会は総務産業常任委員会のみ、予算・決算審査は特別委員会で審査。又原子力	
特別委員会がある。特別委員会は議員8名で構成している。	
議員報酬では特に豊富町の議長報酬が低く感じられるので、報酬審議会に諮問すべき。	
以下、泊村議長等の説明を要約すると次の通り	
① 村民の利用料を無償化すると、それがあたりまえの世界になり、手数料等の	
有料化にした場合、その反発が強い。低負担高福祉の基本を持つべきと反省。	
② 原子力特別委員会で現状の論議では、当地で使用した原子力の廃棄物は地元で	
処分すべとの方向で検討している。	
原子力対策特別委員会の発足経過と議論内容	
① 同委員会は昭和46年6月22日に設置、当初7名の議員で構成し昭和50年3月1日	
から全議員で構成、現在に至る。	
② 1号機・2号機は昭和59年8月に着工、平成1年6月と平成3年4月に稼働、3号機	
平成15年11月着工、平成21年12月稼働、	
③ 平成23年東日本大震災で泊原発全機停止	
午後から泊発電所を視察	
原子力規制委員会によって安全性が確認された原発にかぎり、再稼働が可能性が高い	
ことから、当発電所で安全性に対する各対策等が進められていました。	
特に、3号機の(SA)に備えた体制の整備は事故対応の迅速化が期待できる。	
原発は再生可能エネルギーとは異なるが、環境負荷が低く、再生可能エネルギーの不安	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡単にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

化を補完する役割を果たす可能性がある」と痛感しました。

平成23年3月東日本大震災以降は、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー（再エネ）の発電量が増えていることは事実ですが、これだけでは必要な電気の供給には不足が生じ、全国の電力会社の火力発電所では「炊き増し」、これまでより多くの燃料使って多くの電気をつくり、原発の不在分をまかなっているのが現状と思います。

資源の少ない日本では、電力供給の8割以上が石炭や石油などの「化石燃料」に依存する構造となっており、エネルギー自給率は平成27年度で8.4%と、OECD諸国の中でも35か国中34位と、非常に低い水準なのです。加えて、電力由来のCO2排出量は、震災前と比べて年間7,900万トン増えている事を踏まえると、今後の電力供給のあり方は原子力とバラスのとれた政策が必要と強く感じました。

2025/10/10 北海道議会庁舎 令和2年に供用開始

自民党・道民会議の議員会長 三好 雅氏の案内で議会庁舎を視察。

新北海道議会新庁舎の特徴

- ①札幌の赤れんが庁舎と本庁舎の間に位置(調和を意識した控えめな高さ)
- ②議場は、全国47都道府県の中でも唯一の形態である「馬蹄形」を旧議場より引続く
- ③議場・傍聴席共にバリアフリー化され、道産木材をふんだんに使用。
- ④食堂や展示スペースを含めた公共性の高い設計(昼食の盛蕎麦は美味でした)

赤れんが庁舎視察

赤れんが庁舎は明治21年に竣工、北海道の土、石、木を材料に使い、最高峰の知識と技を注ぎ込んで建設された北海道を代表する歴史的建造物。(国の重要文化財)

- ①北海道の土から生まれた赤れんが
白石村（現・札幌市白石区）で創業した鈴木煉瓦製造場が主に製造
- ②美しさを奏でる異形れんが
鳩の胸のような優美な曲線をもつ「鳩胸れんが」や剣のように先端が尖った「剣先れんが」等を使用
- ③八角塔の復元（明治28年に八角塔は撤去）
昭和43年の赤れんが庁舎、復原改修時に八角塔は復元された。
- ④国の重要文化財に指定
- ⑤約6年間の大規模改修工事完成・リニューアルオープン(令和7年7月)

※今回の研修では、再生可能エネルギーのより一層の普及・拡大のためには、コストのさらなる低減が必要で、初期投資、ランニングコストとともに重要になるのが、パンシングコストですが、電気の計画値と実績値を一致させるためのコストをいいます。電気はためることができないので、つねに供給と需要を一致させなければいけません。太陽光や風力などの変動電源ではこの一致が非常に困難とされています。

原子力発電で安定した需要と供給のバランスを維持することも必要と感じました。

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡単にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年 10 月 30 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹中 隆浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 1

用務	豊富町議会 議会運営委員会 道内行政視察
用務先	エア・ウォーターの森、泊村議会、とまりん館、北海道議会、議事堂赤いが庁舎
期間	令和7年10月8日～10月10日
用務の概要（会議等の概要） 。エア・ウォーターの森視察（10月8日） エア・ウォーターの森は北海道産カラマツ100％使用の木造4階建てで 道内最大規模の木造建築です。 吹き抜け構造が特徴で、1階には水素電池と地下水を利用した ベンチがあり、2、3階は静かな空間で大学の研究機関やオフィス 屋上にはデザイナー設計のガーデンがあります。 環境と木の魅力を活かした施設でした	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和 年 月 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹 中 隆 浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 2

用務	
用務先	
期間	
用務の概要（会議等の概要） 〇泊村議会視察 議会運営について（10月9日） 泊村は人口1388人に対し議員定数8人で最年少61歳、最年長80歳平均年齢は70.5歳です。令和6年度は定例会4回、臨時会3回開催されています。 委員会は総務経済常任委員会、議会運営委員会、特別委員会として予算、決算、原子力発電所対策特別委員会が設置されています。議会だより編集委員会は、正副議長、常任委員長、議会運営委員長の4名で構成されています。 令和7年度予算は50億円です。そのうち商工費19億円を産業施設改築に充てています。 議員報酬は平均的な水準ですが、議長の公務日数や役職を考慮すると見直しを検討する必要があると感じました。	

(注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和 年 月 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹 中 隆 浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 3

用務	
用務先	
期間	
用務の概要（会議等の概要） 。原子力発電所対策特別委員会の発足経過と議論内容について 原子力発電所対策特別委員会は、住民の健康や生活環境への影響を 調査する目的で設置され、委員会では安全協定に関する課題や 原子力規制委員会の審査合格後の再稼働への対応について議論 また、電源立地 地域対策交付金等の配分などの協議をしている	

(注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和 年 月 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹 中 隆 浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 4

用務	
用務先	
期間	
用務の概要（会議等の概要） ○ エネルギーに関する意見交換、地元への思惑について、原発再稼働への村民の反応について 泊村では昭和39年に炭鉱閉山。現在は洋上風力発電の導入を推進している 令和2年には周辺6町村、3漁協で協議会を立ち上げ、令和6年には同地域が有望区域に指定され関係機関と協議を進めている 国からは原子力立地周辺地域の企業に対して約々割の電気料金補助を8年間受けられる制度がある。村独自の事業としても企業新設、増設に対し固定資産税を3年間全額、4年目75%、5年目50%免除しているほか、建設費、土地購入費、設備費の$\frac{3}{5}$（上限2000万円）を助成している。立地交付金として、一般家庭には年間2万2000円、企業には$\text{KW} \times 9/6\text{円} \times 12\text{ヶ月分}$が支給され、村の公営施設は国から1200万円の電気代助成金が交付されている 原発再稼働に関しては住民説明会が開かれたが、大きな反応は見られなかった	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
- 2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

出張復命書

令和 年 月 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹 中 隆 浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

No 5

用務	
用務先	
期間	
用務の概要（会議等の概要） ○原子力PRセンターとメモリアル館 視察（10月9日） 北海道電力担当者より、北海道唯一の原子力発電所である泊発電所について説明を受けた。同発電所は1号機から3号機までの発電設備を有し、現在は全号機が停止中であるが、2027年のできるだけ早い時期に3号機の再稼働、2030年代前半には全機の再稼働を目指している。 再稼働に向けては、安全対策や規制対応が進められており、津波対策として2024年3月から高さ19メートルの防潮堤設置工事が開始された。今後は港湾施設の建設などを含め総工事費約5000億円が予定されている。 また地震、自然災害、火災への対策も講じられており、2025年12月には再稼働時の電気料金値下げが示され、道民からの期待も高まっていると述べている。 ○泊発電所 防潮堤工事現場、中央制御室、3号機タービン建屋見学	

(注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和 年 月 日

豊富町議会議長 様

氏名 竹 中 隆 浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

№ 6

用務	
用務先	
期間	
用務の概要（会議等の概要） ・北海道議会庁舎 視察（10月10日） 北海道議会庁舎は、平成14年の耐震診断で震度5以上の地震により倒壊の恐れが指摘され平成25年には外壁等の落下など老朽化が進行したため改築が検討され鉄筋コンクリート造（地上5階、地下1階）工事費103億円をかけて令和2年5月に新庁舎へ移転し、太陽光発電や自然採光、自然換気、地下水熱エネルギーを活用した環境配慮型設計を採用し、全国唯一の馬蹄形議場と道産材を用いたスカイギャラリーを特徴としている。自然エネルギーを活用していることは高く評価できます道産材をふんだんに使用し、地域の特色と温かみを感じさせる素晴らしいデザインだと思います ・道民ホーⅤ、6階傍聴ロビー（スカイギャラリー）、議場見学 ・赤レンガ庁舎（八角塔）見学	

(注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年10月15日

豊富町議会議長 様

鎌倉 和雄
氏名

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議会運営委員会の行政視察
用務先	泊村及び道議会視察
期間	令和7年10月8日～10月10日
用務の概要（会議等の概要） 泊村の議会運営委員会では、議長等の原発廃棄物等について、敷地内で処理するのが当然との発言があり、興味を持ちました。 泊原発の1～3号基まで視察させていただく中で、3号機の稼働が原子力委員会の審査が終了し、約2年後に稼働との説明が北電よりありましたが、防潮堤の高さ9mはともかく、原発の設置位置が海面に近く、なぜ山側に設置できなかったのか、現在の海水揚力に疑問を持った次第で、災害時の海水による放水に疑問を持った所で先を見越した対策が、国も原発設置者も未曾有の災害対策を考えていないと思われます。 私なら、段階的に「ため池」を作り未曾有の災害に対処する事が、そこに住む住民への最大の安全安心な施策と考えました。 北海道議会の視察について、特にコメントはありませんが、三好道議には大変お世話になったと思います。	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。

出張復命書

No 1

令和7年10月22日

豊富町議会議長殿

氏名 佐々木 誠

この度、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務 議会運営委員会における道内視察調査

用務先 泊村 札幌市

期間 10月8日～10月10日

用務の概要

1. 泊村議会

昭和64年原子力発電所稼働し、2011年3月の東日本大震災の際、福島での放射能漏れ事故を契機に3基ある原子炉が休止状態にあり、現在3号機の再稼働を目指して安全対策工事中である。

安全対策については、国の厳しい基準を満たすため防潮堤の構築や構内連絡用トンネルの新設など大規模な工事の最中であった。

泊村議会との懇談では原発誘致以前の村の財政状況や産業の状況の説明を受け、現在のお町村と同様の危機的な状況であった。

現在村の財政は電源交付金で非常に潤っており、ゴミ処理など公共料金などほとんどタダ、さらには各町内会の数百万の補助金を配布するなど他市町村では考えられない厚遇である。

電源交付金による弊害として、住民に何でもタダという認識が蔓延し公共料を上げるのが困難である。

原発から出る放射性廃棄物の処理は発生させた町村が責任を持って処理するのが望ましいと泊村の議員さんが発言されていたのが印象的であった。

2. 北海道議会庁舎視察

昭和 26 年建設の旧庁舎が築 64 年経過し老朽化したため令和 2 年新庁舎を建設し現在に至っている。

新庁舎の規模は 19000 m²、工事費 103 億円となっており、議事堂を中心に視察したが、議事堂は馬蹄型で議員と執行部が同じ高さで討論できる議場となっている。

さらに議事堂の周囲には歴代の議長の肖像画が掲げられ議会の歴史を感じられました。

以上復命とします。

(議員用 個人議員研修)

出張復命書

令和7年10月31日

豊富町議会議長 様

氏名 前田 孝一

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	道内行政視察
用務先	泊村町議会、北海道議会
期間	令和7年10月8日～10月10日
用務の概要（会議等の概要）	
9日 泊村視察 泊村議会の概要の説明・泊村のエネルギー発電所視察 安全対策について事故の状況に応じた多様な安全対策設備の 手順書を整備して、さらに訓練を継続し一層の向上に努めている。 再稼働に関し課題疑問について道民の声を聞き議論を尽くすべきである 10日 北海道議会視察 議場は演台中心に馬蹄形となっていて傍聴席には専用の補聴器を使用する フラットルーフを備えた席などが用意されている。 大規模災害のためのオンライン設備導入など多くの方々に議会への関心や 参加意識を高めて頂けるような環境づくりは参考となることです。	

- (注) 1 本復命書は、出張完了後、速やかに議会事務局を経て議長に提出すること。
2 用務の概要を簡潔にまとめ、詳細を必要とする場合は別紙に記入すること。